

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度第3回相模原市津久井地区公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		生涯学習部津久井中央公民館 電話042-784-3211 (直通)		
開催日時		令和7年3月7日(金) 午後7時～8時15分		
開催場所		津久井中央公民館 3階研修室A・B		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)		
	その他	2人(緑区区政策課)		
	事務局	4人(館長代理、主事)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 津久井総合事務所周辺公共施設再整備について 4 議 題 (1) 令和6年度事業結果及び補助金決算見込みについて (2) 令和7年度事業計画(案)及び補助金予算(案)について (3) 津久井地区公民館振興計画の見直しについて (4) その他 5 その他 6 閉 会		

協 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 あいさつ（会長）

3月1日につくい中央公民館まつりがあり、晴天で人出が多く、皆様のご協力もあり盛大に行うことができた。今年度事業も、15日のゴスペルコンサート、16日の子ども将棋教室など残り少なくなってきた。ゴスペルコンサートは今年度最後のホール事業になるので、参加いただければと思う。

3 津久井総合事務所周辺公共施設再整備について

緑区役所区政策課職員が次のとおり説明を行った。

- ・現在、基本計画として、事業手法など具体的な施設計画の検討を進めている。
- ・令和8年度以降に設計や整備に向けた検討を進めるので、来年、再来年に公民館が使えなくなるということはない。7年度策定予定の基本計画の中でスケジュールを示したい。
- ・機能・コストの観点や、民間事業者・検討会議からは1棟建てのほうが望ましいとの意見が多いが、1棟建てに決定してはいない。階数も確定していない。
- ・コンパクトな施設にしていくことを目指しており、現在の約6,600㎡を約5,000㎡にすることで、維持管理にかかるコスト等を削減する。
- ・新しい施設内の配置は決定していないが、1階に交流機能、窓口・事務室機能、相談機能、医療機能を、2階に多目的ホール、貸室、事務室、保健機能を、3階以上に事務室や会議室を検討している。保健機能は市民活動機能とは別のフロアへの配置が望ましいとの意見などがあり今後修正が入っていくものと考えている。
- ・1階の交流機能は、フリースペースを設けて、図書室の本を読んだり勉強をしたり休憩やおしゃべりができるようなスペースをイメージしている。展示スペースや小さい子供の遊び場所も入れられればと検討している。建物の外には交流スペースと接続して使えるような屋外広場の配置を検討している。
- ・2階は、ホールとしての稼働率を上げるため、ホールを今の形から平らな形に変更し、災害時の避難場所など様々な目的に使える多目的ホールの形態とするよう考えている。多目的ホールの規模や席数は、現在の利用状況から300㎡200席程度を想定している。
- ・貸室は、定員15名から25名ぐらいの、演奏等の音楽活動、料理実習、軽運動などの利用を想定した部屋を7室程度設置し、可動式の間仕切りで少人数でも大人数でも使える自由の利く諸室をイメージしている。また、少人数で会議や集会ができる小さい部屋があってもよいのではないかと検討している。
- ・つくい中央公民館まつりで、事業について説明し、子どもを含む100人近い来場

者に、交流スペースや屋外広場で行いたいことを尋ねた。

- ・交流スペースでは、「軽食」「おしゃべり」「幼児を遊ばせる」「本を読む」の意見が多く、「軽食」については、カフェというレベルのものではなく飲食可能な場所があればいいという意見があった。子どもからは「学習」「勉強」のほか、「公民館図書室の本が読める場」がほしいという意見があった。
- ・屋外広場では、「地域活動・イベント」「遊具で遊ぶ」「鬼ごっこ等の遊び」「おしゃべり・お茶」「散歩・軽運動」の意見が多かったほか、「自由に利用できる場」「雨や夏の暑い日に使える場」があると良いとの意見があった。
- ・いただいた意見を今後交流スペースの広さ、目的を決めるときの参考にしたい。

<委員からの意見>

(委員) 約6,600㎡を約5,000㎡にするということだが、何を削るのか。

(区政策課) 複合化する6つの施設がそれぞれ持っているトイレや廊下、会議室、相談室など、機能として重なる部分をそぎ落としていくのが主なところ。

(委員) 4階以上はどうイメージしているのか。

(区政策課) 階数は未定だが、4階だとしても3階以上は行政機能の事務室を考えている。

(委員) 災害時の避難所機能として、4階くらいを作るのではないのか。

(区政策課) 災害時の対策拠点として必要となるような備蓄倉庫をどこに配置するかは未定である。検討を進めていきたい。

(委員) 公民館まつりでの意見聴取では、次代を担う子供たちに配慮されているものが特化されているが、今後は高齢者世代も多くなってくる。和室等高齢者に配慮した部屋はあるのか。

(区政策課) 貸室の中で和室を設けるなどの仕様は未定であり、ニーズを踏まえたうえで今後決めていくようになるかと思われる。

(委員) これからニーズ、希望を把握していくのか。

(区政策課) 利用者懇談会でも説明をしていくが、実際に利用者の声がどの程度あるのかによるとと思われる。

4 議題

(1) 令和6年度事業結果及び補助金決算見込みについて

事務局が12月から3月までの実施事業と補助金決算見込みについて次のとおり説明を行った。

- ・3月1日のつくい中央公民館まつりは天候に恵まれ、昨年より1.5倍の参加者があった。昨年よりも子供が多かったように感じた。
- ・津久井中央公民館の特長であるホール事業では、12月にクリスマスコンサート、1月にカラオケ歌合戦を開催した。3月15日にはスプリングコンサートを予定し

ている。

- ・そのほか、歴史講座やクリスマス会等を実施し好評を得た。3月中にも子供将棋教室など、いくつかの事業を予定している。
- ・補助金については、視察研修旅費や消耗品費等に支出し、残金は0円である。

本件について質問は無く了承された。

(2) 令和7年度事業計画(案)及び補助金予算(案)について
事務局が次のとおり説明を行った。

- ・来年度事業については、今年度と同様に、津久井中央公民館はホール事業を中心に事業を実施し、青根公民館については毎月、健康教室など事業を開催することを考えている。
- ・映画音楽コンサートや童謡コンサートなど、出演者に謝礼を支払うホール事業については、昨今の物価高騰を鑑み、出演者への謝礼の増額を目的に有料化を考えている。昨年度、今年度の来場者アンケートでは約7割の方から有料でも参加するとの回答をいただいている。
- ・ホール事業のほか、親子や子供たちを対象とした青少年事業にも力を入れ、工作教室や親子料理教室などを新規に実施することを考えている。
- ・補助金予算案については、今年度と同じ133,000円と聞いており同額で計上している。支出については、専門部経費を減額し、会議費、研修費を増額する。

委員から次のような発言があった。

(委員) 有料となるホール事業のチケット代はいくらか。

(事務局) 現在ワンコイン500円を考えている。

(会長) アンケート結果でも500円が一番多かった。

(委員) 映画上映会はいくらか。

(会長) 無料である。

(副会長) 青根公民館事業の補足だが、健康教室を今年度の4回からさらに増やすことを検討している。高齢化が進む地域からのニーズがあり増やした方が良いと考えている。

(委員) ホール事業を有料にしたときの収入は公民館で使えるものか。

(事務局) 参加者からの入場料は、出演謝礼、印刷費、消耗品代等そのホール事業の経費の支払いに充てる。ホール事業は市からの委託金によって実施しているので、余った場合には委託金を市に返納する。

(委員) 安い出演料をカバーしたいという発想か。

(事務局) はい。昔から金額を変えずに少ない謝礼で出演をお願いしている人が多い。

(委員) 必要な事だとは思いますが、市民から質問が出た時に説明できるようにした方が

良い。

(事務局) 何にいくら使ったのか等実行委員会予算の収支を明確にしたいと考えている。

(委員) もし想定した額が集まらなかったら謝礼額を減額するのか。

(事務局) 今までは委託費から謝礼のほか、出演者の昼食代、消耗品代等を支払っていたが、有料化した場合は委託費の大半を謝礼にし、入場者数の多寡によらず契約額を払うように考えている。入場料からは昼食代や消耗品代を支払うことを考えている。

その他質問等は無く了承された。

(3) 津久井地区公民館振興計画の見直しについて

事務局が次のとおり説明を行った。

- ・平成21年に策定された津久井中央公民館振興計画は、平成28年に津久井地区公民館振興計画に改定され、その後約3年おきに見直しがされてきており、ここで見直しの時期がきた。
- ・3つの重点目標については、地域を取り巻く状況は刻々と変化しているものの、このままと考えている。
- ・活動計画については、時代の流れと共に情報技術が発展し生活の一部となってきたものの使える人と使えない人の差が広がっており、その解消に向けた取り組みとして、学習・文化事業に「ICT利活用に向けた事業の実施」の追加を考えている。
- ・そのほか全体的に文言の修正をする。

委員から次のような発言があった。

(委員) 市内でホールを持つ公民館は津久井中央公民館だけか。大野南公民館は南市民ホールの管理をしているのではないか。

(事務局) 南市民ホールは市民文化財団で管理・運営をしており公民館ホールではない。ホールを持つ公民館は津久井中央公民館だけである。

(委員) 「ICTの利活用に向けた事業の実施」を活動計画に追加するのであれば、事業計画にもICT事業を入れないと整合性がとれない。

(委員) 感想を言いたい。重点目標が素晴らしい。これからもぜひこの目標に向かって努力していただけたらと思う。地域の間人間関係が悪くなったことが今一番の問題だと思う。人と人との交流が素っ気ない。老人会で事業をしても人がなかなか集まらないし、長続きしない。昔なら年齢別の指導者が大勢集まって次は何をしようかとその場で決まった。今は人間関係の高まりがないのか、興味がないのか、とても危惧している。ぜひ、地域を活かした公民館として頑張っていただきたい。

その他の意見等がある場合は事務局までに申し出ることとし、次回に持ち越すことになった。

(4) その他

なし

4 その他

事務局が運営協議会の任期について説明を行った。

5月末に任期を終える会長から退任の御挨拶をいただいた。

- ・3期9年に渡り津久井中央公民館長を務めさせていただいた。地域をつなぐという課題が本当に難しい問題だった。良い事業を実施しても1回で終わってしまい、つながっていかないという歯がゆい思いをずっとしていた。そのほか有料化やSネットの導入など様々な課題があったが、皆さまのお力添えのおかげで無事に務めることができた。本当にありがとうございました。

5 閉会

以上

相模原市津久井地区公民館運営協議会委員出欠席名簿

No.	役 職	氏 名	所 属 等	出欠
1	会 長	高井 登志子	津久井中央公民館長	出席
2	副会長	松本 雅之	青根公民館長	出席
3	委 員	神原 由香里	津久井中央小学校長	出席
4	委 員	佐藤 和子	津久井地区子ども会育成連絡協議会	欠席
5	委 員	熊谷 弘	津久井地区自治会連合会	出席
6	委 員	板倉 忠臣	津久井地区老人クラブ連合会	出席
7	委 員	柳川 要造	津久井地区社会福祉協議会	出席
8	委 員	森田 正紀	津久井観光協会	出席
9	委 員	松井 智子	公民館利用団体	出席
10	委 員	渡辺 初枝	公民館利用団体	出席
11	委 員	柳川 太造	学識経験者	出席
12	委 員	佐藤 秀子	学識経験者	出席
13	委 員	宗像 喜美一	公募委員	出席
14	委 員	町田 和子	公募委員	出席
15	委 員	伊藤 守	公募委員	出席
16	委 員	溝口 健次	スポーツ推進委員連絡協議会津久井地区	出席
17	委 員	盛島 明美	青少年指導委員連絡協議会津久井地区協議会	欠席
18	委 員	山品 紀美代	津久井地区健康づくり普及員協議会	出席